

ロタウイルス抗原検査				8126000	
				担当部署	
ロタウイルス				微生物	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		患者自身が採取する場合は良質の検体が採取できるように適切な採取・保存方法を十分に説明し協力を求める			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*7.特殊細菌→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		診断は、本製品による検査結果のみで行わず、他の検査結果や臨床症状を考慮して総合的に判断すること。			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		該当なし			
検体採取の特別なタイミング		特になし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	糞便	細菌 便容器 2	なし		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温 採取後直ちに提出			
検体受入不可基準		1) 検査ラベルがない検体 2) 検体には糞便を用いる。 3) 尿、血清等、便以外の検体は使用しないこと。			
保管検体の保存期間		2 週間（再検査・追加検査は要連絡）			

検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		1～2 日			
生物学的基準範囲		陰性（－）			
臨床判断値		該当なし			
基準値				単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		乳幼児の重症嘔吐下痢症の原因ウイルスの 1 つとして知られている。 糞口感染し、2～4 日の潜伏期間の後、腹痛、嘔吐、発熱、下痢などの主症状を呈する。 白色便がロタウイルス嘔吐下痢症の特徴とされていたが、白色以外の便を排泄する患者も多く認められる。 合併症として中枢神経障害に伴うけいれん、脳症、腎不全などを伴うことも有り、乳幼児の場合、特に重症化に注意が必要である。 「臨床検査法提要 改訂第 34 版 2015 年」			